



一般質問

個人事業の後継者不足について

後継者不足に対する取り組みを！

質問 少子化などを要因とする後継者不在により、現在廃業が進んでいる地域の個人事業に対して、地域の衰退に関わることから、危機感を持った対応が必要と考えるが、どのように捉えているのか。また、学校や子ども会など地域活動や市民講座において、個人事業の職業技術の紹介や披露、講話や職業体験などを通して、子どもたちにそういった職業に関心を持ってもらう機会を設ける必要があると思うが、見解はどうか。

答弁 市内の事業者は、ここ4年間で215事業所が減少し、また、経済産業省が平成27年度に示した10年後の全国の残存企業率を七尾市に当てはめると、市内の事業所数は2500事業所ほどになり、人口減少とともに経営者の後継者不足などで事業所数は減少し、空き店舗が増えるなど、地域活力が低下していく。そこで七尾市では、事業承継を進めるために国の補助金を活用して、七尾街づくりセンターが主導になって七尾市事業承継オーケストラを立ち上げ、事業承継に取り組んでいるところである。また、学校教育において、小学校では社会科見学を、中学校では職業体験を行っている。経済団体においても危機感を持って、将来の担い手となる子どもたちを育てるための模擬会社の立ち上げ、運営、職業体験などを行っている。

- 【その他の質問項目】
- 避難所運営
- 行財政改革のさらなる取り組み
- 今年度の除雪計画



議員 山崎 智之 (灘会)



事業承継オーケストラ発足式

一般質問

旧御祓中学校校舎及び関連施設の跡地利用 学校跡地の有効な活用を！



議員 木下 敬夫 (無会派)



旧御祓中学校

質問 本年の第1回定例会でも同様の質問したところ、旧御祓中学校校舎の雨漏りが非常に厳しく、老朽化が進んでおり、校舎の取り壊しを検討しているとの答弁だった。その後、西湊地区町会連合会からも同様の話があり、グラウンドは山の寺院院群の駐車場にすること。その他にも施設が敷地内に存在し、早期整備計画を示していただきたいが、解体時期とその他施設の今後の利活用について伺う。

答弁 先の6月定例会でも答弁したが、校舎については出来る限り早く解体したい。体育館については、七尾市シルバー人材センターから利活用の要望があり、現在調整中である。グラウンドの活用は、一般の七尾市町会連合会の場で、西湊地区からの要望があったが、山の寺院院群へのアプローチのための駐車場や公衆トイレの設置について検討していきたい。武道館については、市として今は利活用の考えはないので、地域づくり協議会をはじめ、地元で主体的に管理・運営していただけるのであれば、しっかりと協議・検討をしていきたいと思う。今後、解体や整備のスケジュールについては、平成31年度以降、順次進めていきたい。

- 【その他の質問項目】
- 七尾市小中学校の空調
- 市営小丸山住宅
- 石彫シンポジウムの作品活用

一般質問

国保制度での均等割について

国民健康保険の均等割全額免除を！

質問 現在の医療保険制度は、組合健保、協会けんぽ、共済組合、船員保険、後期高齢者保健、国民健康保険の6種類かと思うが、加入する被保険者に等しく均等割の保険税や保険料を徴収しているのは、国民健康保険制度以外であるのか。また、子どもの医療費補助制度はどの保険に加入しても対象になるが、均等割を負担しているのは国民健康保険だけであり、不公平だと思わないのか。そして、均等割を全額免除することで他の被保険者の負担増にならないためにも法定外繰り入れをして不公平を解消する考えはないのか。

答弁 保険税並びに保険料の算定において均等割を適用しているのは、国民健康保険税以外では後期高齢者医療保険である。国民健康保険税の算定には、地方税法の規定により、所得割及び均等割を必ず適用する規定となっており、不公平という考えはない。均等割を全額免除するために法定外繰り入れすることは、国民健康保険税の加入者以外の方に新たな負担を求めることになることから、一般会計からの法定外繰り入れを行う考えはない。なお、石川県では子どもに係る均等割軽減措置の導入等の財政支援を、全国知事会を通じて国に要望しており、その動向をしっかりと注視していきたい。

- 【その他の質問項目】
- 小中学校での夏場対策
- 万行遺跡の整備
- 障害者雇用
- 学童指導員
- 通学路の安全対策



議員 和典 和典 (無会派)

